株式会社ＢｅｅＸ

証券コード 4270

情報・通信業 | グロース（内国株式） | 決算期 2月末日 …

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ミッション・ビジョン・バリュー

先進テクノロジーで顧客の成長と変革に貢献し、企業の経済活動を活性化させポジティブなエネルギーと実りをもたらす

2 中長期の経営戦略

1. 基幹システムクラウド移行

SAPシステム含む大規模基幹システムのオンプレミスからクラウド/標準化への移行案件獲得をターゲット

2. DXプラットフォーム構築

データ分析基盤構築・クラウドアプリケーション開発をベースに、レガシーシステム解消と新ビジネスモデル実現を支援

3. セキュリティソリューション提供

WAF・脆弱性診断等をBeeX Plusに組み込み、デバイスからクラウドまでのトータルセキュリティを展開

4. ストック型収益強化

MSP・クラウドライセンスリセールを中心に継続的成長と安定的収益モデルを構築

3 対処すべき課題

① クラウドビジネスの強化・拡大

- 大規模システムインテグレーター参入による技術力・価格競争の激化に対応
- フロー売上とストック売上の両輪拡大で持続的成長を実現
- デジタルトランスフォーメーション推進取組みを拡大

② 優秀な人材確保・育成

- クラウド業界のエンジニア人材不足への対応が重要課題
- リモートワーク・フレックスタイム制度など働き方多様性を推進
- 研修・認定資格取得補助で従業員能力発揮の仕組みを確立

③ 次世代MSP強化と差別化

- BeeX Service ConsoleとBeeX Plusで他社ベンダーとの差別化を実現
- セキュリティソリューション等機能強化・追加が必須
- 市場・技術動向への俊敏な対応と開発体制強化

面接で使えるポイント

- 2025年のIT人材不足43万人という課題の中で、エンジニア育成・確保施策が重要
- AWS・Azure・Google Cloud対応のマルチクラウド推進で市場成長に対応
- BeeX Service ConsoleなどSaaS型運用管理ツールで他社差別化を実現

出典: 金融庁EDINET 有価証券報告書「経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」（書類ID S100VTSI）
原文を生成AI（claude-haiku-4-5-20251001）が要約・再構成したものです。正確な内容は原文をご確認ください。

株式会社ＢｅｅＸ

情報・通信業 | グロース（内国株式） | 決算期 2月末日 …

証券コード 4270

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

2016年3月設立の情報・通信業に属する企業

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高	営業利益率	財務健康度
106億円	5.6%	64点 ／100点

将来性 晴れ ／ 就活偏差値 55.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収	平均年齢	平均勤続	女性管理職	男性育休
782万円	41.2歳	3.5年	4.7%	71.4%
情報・通信業内 117位/592社	情報・通信業内 143位/593社	情報・通信業内 489位/593社	情報・通信業内 342位/373社	情報・通信業内 210位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: ＢｅｅＸ、アスクルの国内最大級「SAP S/4HANA®」移